

にほん でんしゃ 日本の電車

URL : <https://youtu.be/JLT92tGwud8>

こんかい にほん でんしゃ まな にほんご べんきょう
今回は「日本の電車」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、どうが ぜんはん すこ かんじ
前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があり
ます。
こうはん すこ はや かんじ
後半は少しだけ速くなり、漢字に「ふりがな」はありません。
がくしゅう やくだ
学習にお役立ててください。

わたくし ■私のこと

わたくし なまえ こうもと にじゅうごさい わたくし とうきょう す
私の名前は、河本りょうとといいます。25才です。私は東京に住んでいます。

とうきょう でんしゃ まいにち しごと い でんしゃ つか
東京には、たくさんの電車があります。毎日、仕事に行くときに電車を使っ
ています。
わたくし でんしゃ やす ひ でんしゃ まち い
私は電車にのることが好きです。休みの日には、電車でいろいろな町に行きま
す。たとえば、山に行ったり、海を見に行ったりします。
でんしゃ まち ひと みせ み たの
電車にのると、ちがう町の人やお店を見ることができます。それがとても楽し
いです。

がっこう りょこう でんしゃ つか
むかし、学校のともだちと旅行をしたことがあります。そのときも、電車を使
いました。
でんしゃ まち い えき か
たくさんの電車をのりかえて、ちがう町に行きました。駅で買ったおべんとう
を食べながら、外のけしきを見るのが楽しかったです。

にほん でんしゃ まな にほん でんしゃ
きょうは、日本の電車について、いっしょに学んでいきます。日本の電車には、
たくさんのよいところがあります。

でも、まもらなければならないルールもあります。

あんしん ある ■安心して歩けるまち

■日本の電車はどこでも行ける

日本には、たくさんの電車があります。電車は、毎日とても多くの人に使われています。学校に行く人、仕事に行く人、旅行をする人がのっています。

日本の電車は、全国に広がっています。大きな町だけでなく、小さな町や山の中の駅にも電車がいきます。たとえば、東京から大阪まで電車で行けます。北海道や九州にも、長いせんろがあります。

町と町をつなぐ電車もあります。人がたくさん住む場所では、電車の本数がとても多いです。五分、十分ごとに來ることもあります。

日本の電車は、ほとんどの場合、時間どおりに來ます。きていの時こくに、正しく出て、正しくつくことが多いです。だから、毎日の仕事や学校に通うのにべんりです。でも、ときどき、雨やじこで、おくれることもあります。

いなかの町では、電車の本数が少ないこともあります。たとえば、一日に五本しかない駅もあります。そのため、時こくをよく見てのることが大切です。

電車は、車よりも広くて安心です。お年よりや子どもも、楽にのることができます。また、町の中を歩かなくても、駅から駅へとつながっているので、まよいにくいです。

このように、日本の電車はどこへ行くのにも使えます。旅行のときにも、電車があれば安心です。

たくさんの人がのっているので、のり方をまねするだけで大丈夫です。駅には、色やマークがついた目じるしがたくさんあります。どの線にのるか、どこに行くかが、かんたんにわかるようになっています。

よく見れば、まちがえずにのることができます。日本に來たら、ぜひ電車を使ってみてください。

■いろいろな電車の会社

日本には、たくさんの電車の会社があります。会社によって、のっている人や、行く場所がちがいます。どの会社の電車も、時間に正しく、安心してのることが出来ます。

一つ目は、JRという会社です。JRは「日本の国の会社」からできた電車の会社です。JRは、全国にあります。たとえば、JR東日本、JR西日本、JR東海などがあります。JRの電車は、とても遠くまで行けます。

二つ目は、私てつとよばれる電車の会社です。これは、JRとちがって、国ではなく、町の会社や大きな会社が作った電車です。たとえば、東京メトロ、東急、阪急などがあります。これらの電車は、町の中をつないでいます。

東京や大阪のような大きな町には、たくさんの電車の会社があります。それぞれちがう名前ですが、同じ駅でのりかえができることもあります。色やマークを見て、ちがいがわかるようになっていきます。

また、日本の電車には「地下てつ」と「地上の電車」があります。地下てつは、地面の下を走っている電車です。地上の電車は、ふつうのせんろの上を走る電車です。外のけしきを見ながらのることが出来ます。

どの電車も、のる前にマークや駅の名前をよく見れば、まちがえずにのれます。日本の電車は、ちがう会社でもつながっていることが多いので、とてもべんりです。

■電車のしゅるいとちがい

日本の電車には、いくつかのしゅるいがあります。しゅるいによって、とまる駅やかかる時間、お金の高さがちがいます。電車にのる前に、どのしゅるいのるかをよくかくにんすることが大切です。

まず、「各駅」という電車があります。これは、すべての駅にとまる電車です。時間はかかりますが、まちがえにくいです。はじめて日本に来た人でも、安心して使えます。

つぎに、「かいそく」という電車^{でんしゃ}があります。これは、一部の駅^{えき}だけにとまります。とまらない駅^{えき}もあるので、のるまえに駅^{えき}の名前^{なまえ}をかくにんするひつようがあります。かいそくは、各駅^{かくえき}よりもはやく行けます。

そのつぎは、「とっきゅう」という電車^{でんしゃ}です。とまる駅^{えき}がとてもすくないです。そのため、とてもはやくつきます。とっきゅうは、のるためにべつのお金^{かね}がいることもあります。きっぷを買うときに、お金^{かね}がいくらいるかを見ておきましょう。

さいごに、「しんかんせん」があります。しんかんせんは、べつのせんろ^{はし}を走る電車^{でんしゃ}です。とてもはやくて、かんたんに遠く^{とお}へ行けます。たとえば、東京^{とうきょう}から大阪^{おおさか}まで、三時間^{さん じかん}くらいで行けます。

しんかんせんも、とっきゅうと同じように、ふつうの電車^{でんしゃ}よりお金^{かね}が高^{たか}いです。

このように、日本の電車^{にほん でんしゃ}にはいろいろなしゅるいがあります。はやく行きたいときや、ゆっくり行きたいとき、じぶんの行きたい場所^{ばしょ}や時間^{じかん}にあわせて、電車^{でんしゃ}をえらぶことができます。

しゅるいをよく知っておくと、日本の町^{にほん まち}をもっと楽しめます。

■きっぷとICカードの使いかた

日本の電車^{にほん でんしゃ}にのるときは、「きっぷ」や「ICカード」がひつようです。どちらも、お金^{かね}をはらって電車^{でんしゃ}にのるためのものです。ふつうは、どちらか一つ^{ひとつ}を使います。

きっぷは、駅^{えき}の中にある「じどうはんばいき」で買^かえます。じどうはんばいきの前^{まえ}に行き、行きたい駅^{えき}の名前^{なまえ}をさがします。行き先^{いき さき}が見つかったら、ボタン^{ボタン}をおして、お金^{かね}を入れます。すると、きっぷがでてきます。きっぷは、小さな紙^{かみ}です。かならずなくさないようにしましょう。

ICカードは、プラスチックのカードです。

たとえば「Suica」や「PASMO」があります。このカードには、お金^{かね}を入れることができます。お金^{かね}を入れることを「チャージ」といいます。チャージも、駅^{えき}にあるきかいでできます。

あいしー
ICカードを使うときは、駅にある「かいさつ」で、カードをまるいマークの上におきます。音がしてランプがついたら、中に入ることができます。出るときも、同じようにマークの上におきます。お金は、あとで自動でひかれます。

あいしー
ICカードは、きっぷよりもべんりです。買う時間がいらず、すぐに電車にのれます。きっぷをまちがえて買ってしまうこともありません。たくさん電車にのる人には、とても使いやすいです。

わからないときは、駅の人がていねいに教えてくれます。はじめてでも、心ばいしなくて大丈夫です。

■電車の中でのルール

にほん でんしゃ
日本の電車には、まもらなければならないルールがあります。電車は、たくさんの方がいっしょに使うのでマナーが大切です。ルールをまもることで、みんなが気持ちよくすごせます。

まず、電車の中では、大きなこえで話さないようにします。ともだちと話すときも、しずかに話します。しずかにすごしたい人もいるからです。

つぎに、けいたい電話の使いかたに気をつけます。電車の中では、音を出さずに使います。電話はしません。メールやメモを見るだけにします。とくに、ゆうせんせきの近くでは、けいたい電話の電源を切るように言われることもあります。

ゆうせんせきは、からだがふじゆうな人や、お年より、赤ちゃんをだいている人のためのせきです。ひつような人がすわれるようにするためにあります。元気な人でも、まわりにひつような人がいなければ、すわってもかまいません。でも、ひつような人が来たら、すぐにせきをゆずりましょう。

また、ゆうせんせきではなくても、せきをゆずることは大切です。まわりをよく見て、お年よりや、ケガをしている人がいたら、すすんでゆずりましょう。日本では、そうしたやさしい気持ちも大切にしています。

おと で
音の出るゲームや音楽も、しずかにします。食べものや飲みものも、においがつよいものはさけます。ほかの人のことを考えて行動することが大切です。

にほん でんしゃ
日本の電車では、このようなルールをまもってすごす人が多いです。まわりの
ひと み
人を見てまねするだけでも、マナーがわかってきます。マナーをまもることで、
じぶん あんしん でんしゃ
自分も安心して電車にのることができます。

■あさ ゆうがた 朝と夕方はとてもこんでいる

にほん でんしゃ あさ ゆうがた
日本の電車は、朝と夕方にとてもこんでいます。朝は学校や仕事に行く人が多
ゆうがた いえ かえ ひと おお
いです。夕方は、家に帰る人が多くなります。このような時間を「ラッシュア
ワー」といいます。

ラッシュアワーの時間は、電車の中に人がたくさん入っています。ドアの前
じかん でんしゃ なか ひと はい
にも人がたくさんいて、動くことがむずかしいです。まわりの人と体がぶつかる
ひと うご
こともあります。でも、日本の人は、なるべくしずかにしてのっています。

こんでいるときは、リュックなどのかばんを前にかかえる人が多いです。そう
まへ ひと おお
すると、ほかの人のじゃまになりにくいからです。また、大きなこえで話した
ひと おお
り、ゲームの音を出したりしないように気をつけています。

でんしゃ まえ
電車にのる前にも、ルールがあります。駅のホームでは、ドアのよこにある
えき
「黄色いせん」の後ろでならびます。電車が来たら、おりる人が先です。中の
きいろ うし
人がおりてから、のりましょう。

ラッシュアワーの電車では、ゆう先せきにすわらない人も多います。こんで
でんしゃ せん
いるときでも、ルールをまもる人が多いです。
ひと おお
まわりの人の行動をよく見て、どうすればよいか学ぶことができます。

こんでいる電車がこわいと思う人もいるかもしれません。でも、時間をずらし
でんしゃ
て電車にのれば、すいている時間もありません。たとえば、あさはや じかん
朝の早い時間や、お
ひる
昼すぎなどです。ラッシュアワーを知っておくと、より安心して電車を使えま
あんしん でんしゃ つか
す。

にほん ひと
日本の人も、こんでいるときは気をつけているので、まねして行動すればだい
き
じょうぶです。

■^{りょこう}旅行でしんかんせんにのろう

しんかんせんは、^{にほん}日本でとても有名な^{ゆうめい}電車です。しんかんせんは、とてもはやくて、とてもとおい^{まち}町まで^い行けます。たとえば、^{とうきょう}東京から^{おおさか}大阪まで、^{さん}三時間くらいで行けます。ふつうの^{でんしゃ}電車より、二倍以上はやいです。

しんかんせんの中は、^{なか}きれいで^{ひろ}広いです。かばんをおく^{ばしょ}場所もあります。まど^{そと}の外のけしきを見ながら、のんびりすごすことができます。^{なが}長い^{じかん}時間の^いっていても、つかれにくいです。

しんかんせん^にのるときは、きっぷをよやくします。よやくとは、^{せき}さきに席をとっておくことです。よやくは、^{えき}駅の中にあるまどぐちや、^{なか}じどうはんばいき、またはインターネットでもできます。
どの^{でんしゃ}電車にのるか、どの^{せき}席にするかをえらぶことができます。

しんかんせんのきっぷは、ふつうの^{でんしゃ}電車よりも^{かね}お金がかかります。でも、^い行きたい^{ばしょ}場所に早くつくことができます。
^{じかん}時間をたいせつにしたい人^{ひと}には、とてもべんりです。また、^{がいこく}外国から^{にほん}日本に^き来た人^{ひと}には「Japan Rail Pass」があります。

これは、^{じえいあーる}JRの^{でんしゃ}電車やしんかんせん^{なんにち}に、何日かつづけてのれるきっぷです。ふつうにきっぷを^かかうよりも、^{がいくじん}外国人だけが^{つか}使えるきっぷです。このパスは、^{にほん}日本に^く来る^{まえ}前に^か買うことができます。
インターネットや^{りょこうがいしゃ}旅行会社で^か買っておきます。そして、^{にほん}日本の^{えき}駅で^み見せると、^{ほんもの}本物のきっぷにかえてくれます。

しんかんせんは、^{にほん}日本の^{でんしゃ}電車の中でも、いちばん^{なか}早くて^{はや}べんりなのりものです。
^{にほん}日本の^{まち}いろいろな^{まち}町をたずねたい人^{ひと}には、しんかんせんがおすすめです。

■^{しゅうでん}終電や^{ほんすう}本数にちゅうい

^{にほん}日本の^{でんしゃ}電車は、^{まいにちあさ}毎日朝から^{よる}夜まで^{はし}走っています。でも、^{よる}夜おそくなると、^{でんしゃ}電車はとまります。

さいごに^で出る^{でんしゃ}電車のことを「^{しゅうでん}終電」といいます。
^{しゅうでん}終電の^{じかん}時間は、^{まち}町によってちがいますが、^{よるじゅういち}たいていは、^じ夜十一時から^{じゅうに}十二時ごろです。

仕事や旅行のあとに、ゆっくりしていると、終電にのりおくれしてしまうことがあります。終電をすぎると、つぎの電車は朝まで来ません。そのため、家に帰れなくなってしまう人もいます。

とくに、知らない町にいるときや、ホテルが駅からとおい場合は、時間に気をつけなければなりません。駅のじこくひょうを見たり、スマートフォンで調べたりして、自分がのる電車の時間をかくにんしましょう。

日本の人も、終電の時間をよく考えて行動しています。しんぱいなときは、駅の人に聞くこともできます。終電の時間を知っておけば、安心して電車を使うことができます。

また、日本の電車は、どこに行くにもべんりです。でも、町によって電車の本数がちがいます。都会では、人がたくさんすんでいるので、電車の本数も多いです。たとえば、東京や大阪では、五分や十分ごとに電車が来ることもあります。まっている時間がみじかいので、とてもべんりです。

いなかの町では、人がすくないため、電車の本数もすくなくなります。たとえば、一時間に一本しかないことや、一日に五本だけしか来ないこともあります。このような町では、のりたい電車の時間を前もってしらべておくことがたいせつです。

このように、日本の電車はべんりですが、どこでも同じではありません。町によって、使いかたや気をつけることもかわってきます。

■日本の電車をもっと楽しむために

私は電車がすきです。旅行のときは、いろいろな電車にのって、ちがう町に行きます。けしきがかわるのを見ると、気もちもかわってきます。ふつうの道では行けない場所にも、電車なら行けます。

日本には、すてきな駅がたくさんあります。たとえば、大きな駅の中には、食べ物やおみやげを売る店があります。小さな駅には、山や川が見えるけしきのいい場所もあります。その町のふんいきがわかる駅もあります。

駅をまわるだけでも、とてもたのしいです。駅の中にある「駅べん」も、旅行の楽しみの一つです。

えき 駅^{べん}は、えき 駅^でか 買えるおべんとうです。そのまち 町の^た食べものがはい 入っていることもあり、た 食べるだけで、そのまち 町の^{すこ}ことが少しわかります。

また、でんしゃ 電車^{なか}の中では、マナーをまもることで、もっとよいじかん 時間^{じかん}になります。たとえば、しずかに^{ひと}すること、せきを^きゆずることなどです。まわりの人の^{きもち}気持ちを大切にすれば、自分の^{きもち}気持ちもあたたかくなります。

でんしゃ 電車^{なか}にのっていると、にほん 日本^{ひと}の人の^{こうどう}行動や文化^{ぶんか}を^{まな}ぶことができます。しずかなふんいき^{なか}の中で、まわりのようすを見ると、たくさんの^きことに気づきます。

にほん 日本^{でんしゃ}の電車^{まち}は、まち 町とまち 町、ひと 人とひと 人をつなぐ大切な^{たいせつ}ものです。がいこく 外国^きから来た^{ひと}人にとっても、にほん 日本^{ぶんか}のくらしや文化^みを見て、たいけんするよいチャンスになります。

これからにほん 日本^くに来る人も、すでに^す住んでいる^{ひと}人も、ぜひでんしゃ 電車^{たの}にのって、楽しい^{じかん}時間を^{ひと}すごしてみてください。
まちや^{ひと}人のあたたかさを、きっと^{かん}感じられる^{おも}と思います。

「にほん 日本^{でんしゃ}の電車^{らん}」はいかがでしたか。
コメント欄から感想^{かんそう}をみんなに^{おし}教えてください。
それでは、また^{べつ}別の^{どうが}動画^あでお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI